

I 時国家と奥能登地域の調査……………網野善彦

7

時国家文書と日本常民文化研究所——一九八五年度・一九八六年度の調査と史料の紹介 8

はじめに 一 時国家と渋沢敬三氏 二 時国家文書と月島分室

三 時国家と神奈川大学日本常民文化研究所 四 時国家文書の現状と今後の課題

五 「下町野荘岩歳年貢米・上成算用状」について ちすび

一九八七年度の調査と史料の紹介 38

一九八八年度の調査と史料の紹介 51

一九八九年度の調査と史料の紹介 66

一九九〇年度の調査と史料の紹介 83

一九九一年度の調査と史料の紹介 124

一九九二年度の調査と史料の紹介 140

一九九三年度の調査と史料の紹介 170

一九九四年度の調査と残された課題について 194

II 在村残存書籍調査の方法と課題……………橘川俊忠

207

上時国家所蔵書籍調査報告（近世編） 208

はじめに

所蔵状態と蔵書の形成過程

所蔵書籍の概要

残存書籍調査の方法と課題

上時国家所蔵書籍調査報告（近代編） 224

はじめに

書籍の概要

蔵書の主な内容とその特徴

その他の書籍群について

所蔵書籍群の示すものは何か

III 史料としての手習本……………橘川俊忠

241

IV 北からの便り——酒屋嘉兵衛書状の紹介……………泉雅博

257